

## 県警のW初めて 「1%→26%」に引き上げ事務職員で 全国表彰の男性と警察署の刑事部門の女性課長は県短の同窓生

桜の開花が待ち遠しい今日この頃、同窓会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

県短同窓会員で県警勤務の二人が南日本新聞に大きく掲載されましたのでご紹介します。

令和6年3月19日2面の「かお」に「**事務職員で鹿児島県警初の「全国優秀警察職員」**」に選ばれた大徳貴史さんと3月12日3面の「**先駆者の歩み 国際女性デーかごしま9**」に「**気負わずに挑戦続ける**」鹿児島県警警務課課長補佐（階級：警部） 渡邊亜子さんです。

大徳さんは渡邊さんと同じ職場の課長補佐です。平成4年第二部商経科卒業で、県警では「全国優秀警察職員」は従来から警察官が受章されていましたが、「鹿児島県警で男女共に働きやすい環境作りに取り組んだ」として、初めて事務職員が受章されました。

県警では男性育休取得率の目標 30%を掲げていましたが、**実績は1%以下**でした。大徳さんはワークライフバランスの推進などを担当し、「男性は仕事を休めば『怠けている』と見られるのではという不安を抱き、休暇を取りづらい側面があった」と指摘し、「女性が長く活躍し続けるためにも、**ワークライフバランス向上と意識改革が必要**」と訴え、令和5年の男性の育児休業取得率が**過去最高の26.1%を達成**しました。

大徳さんは本年3月25日付けの人事異動で課長級に昇任し、鹿児島中央警察署警務会計官へご栄転されました。二重のお祝いおめでとうございます。



渡邊さんは、平成15年商経学科経済専攻卒業で刑事に憧れて警察官に奉職したそうです。そして**県警の女性警察官で初めて所轄の刑事部門の課長**に発令され、令和元年から2年まで錦江警察署の生活安全刑事課長を務められました。**性別ではなく能力や適性で判断**されるようになった。

今は地域部門の次に刑事部門に女性が多く配置されているそうです。現在は採用係を担当し、「警察は『女性の中でも体育会系の人が目指す職業』という印象を払拭し、**志さえあれば活躍できる職場**と伝えたい」とのことでした。

人柄が窺える笑顔の素敵な二人の今後ますますのご活躍を祈念しております。



### 大徳さんと渡邊さんからのメッセージ

県短の同窓会員と学生の皆さん、県警の警察官も事務職員も専攻には関係ありません。「鹿児島島の安心安全」のために一緒に仕事をしていきましょう。

福利厚生も充実し、ワークライフバランスも推進しています。男性の育児休業取得目標も達成間近です。皆さんの目指す職場を作っていきましょう。